

# 新築工事現場における感染症対策マニュアル

## 現 場

- 出勤前に検温する。
  - ・体調管理に留意し、発熱等の風邪の症状がないか確認する
  
- 現場内ではマスクを着用する。
  - ・飛沫による感染を防ぐ
  
- 現場入退場時にアルコール消毒する。
  - ・接触による感染を防ぐ
  
- 現場の入退場を記録する。「会社名」「氏名」「入退場時間」「体温」の記録。
  - ・感染者が出た場合に、濃厚接触者を特定しやすくする
  
- 現場での打合せは最低限かつ、最小人数で行う
  - ・近距離での会話を防ぐ
  
- 現場作業従事者の人数を制限する
  - ・手の届く距離に多くの人がいる事を防ぐ
  
- 30分～60分間隔で換気する
  - ・密閉空間での換気を増やす
  
- 施主の来場は事前連絡をもらう
  - ・感染のリスクを減らす

## 現 場 外

- 各職業者を集めての打ち合わせは避ける。
  - ・近距離での会話を防ぐ
  
- 施主との打ち合わせはメールや電話、オンラインなどを活用し、直接会うことは最低限に留める。
  - ・近距離での会話を防ぐ
  
- 現場監督及び管理者は、現場に入る作業従事者の人数を常に管理し、三密を防ぐように努める。
  - ・工事の遅延より、人命を優先する
  
- 工事請負者は政府及び関係機関からの発表や通知等に応じ、迅速かつ適切な措置を講じる。また、施主との連絡を緊密にし、政府及び関係機関からの発表や通知による工事の影響を説明する。
  - ・感染状況に気を配り、感染拡大を防ぐ

自分は罹らないから大丈夫ではなく、罹っているかもしれないという意識を持つ！

それは自分を守るだけでなく、周りの大切な人を守ることに繋がります。